



平成 29 年 7 月 21 日
佐賀大学大学院工学系研究科

理工系情報学科・専攻協議会で掛下准教授が講演

【概要】

知能情報システム学専攻 掛下哲郎准教授が、2017 年 7 月 21 日に早稲田大学にて開催された理工系情報学科・専攻協議会において、「国内 750 大学の調査から見てきた情報学教育の現状」と題して講演を行った。

【本文】

知能情報システム学専攻 掛下哲郎准教授が、2017 年 7 月 21 日に早稲田大学にて開催された理工系情報学科・専攻協議会において、「国内 750 大学の調査から見てきた情報学教育の現状」と題して講演を行った。同協議会には全国の情報系学科および文部科学省・専門教育課から 100 名以上の参加があり、講演後の質疑応答や自由討論会でも活発な議論が行われた。

本講演では、平成 28 年度 文部科学省委託事業「超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究」の一環として情報処理学会が受託した大学における情報教育の現状について報告が行なわれた。また、調査結果を踏まえて情報分野におけるコアカリキュラムの策定に関する今後の方向性が示された。

情報専門学科は、従来想定されてきた理工系の範疇を大きく超えて広がっており、約 3 万人の学生が履修している。一方、情報専門教育を行う非情報系学科は学校基本調査の 11 区分すべての学部にと及んでおり、少なくとも 10 万人以上の学生が履修している。一般教育・共通教育としての情報学教育は少なくとも 25 万人以上の学生が履修している。これらの現状を踏まえて、様々な学科・学部・大学における情報学教育のコアカリキュラムを策定する必要性が大きい。

掛下准教授は、同調査のデータ収集および分析において中心的な役割を担っている。調査報告書は文部科学省のホームページでも公開されている[1]。

調査報告書：

[1] 情報処理学会，超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究，第 2 章「情報学分野の大学教育に関する現状調査」，平成 29 年 3 月

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1386892.htm



掛下准教授による講演の様子